

東武鉄道とJR北海道の共同施策

10月27日(金)にJR札幌駅西コンコースで

「SL『大樹』PRキャラバン」を実施します！

東武鉄道株式会社
北海道旅客鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）とJR北海道（本社：北海道札幌市）は、2017年10月27日（金）にJR札幌駅西コンコースのPRブースにおいて「SL『大樹』PRキャラバン」を実施します。

同PRブースは、東武鉄道がJR北海道からC11形207号機を借り受け、東武鬼怒川線で2017年8月10日から復活運転しているSL「大樹」の魅力を伝えるべく、東武鉄道、JR北海道、JR東日本および自治体が連携して9月28日から設置しているものです。

今般、更なる情報発信を図るため、東武鉄道とJR北海道が共同でPRキャラバンを実施し、JR札幌駅をご利用のお客さまにSL「大樹」に関するパンフレットやノベルティ、および北海道・東北新幹線を利用して日光・鬼怒川エリアや都内を訪ねる旅行商品のパンフレット等を配付することで誘客を図ります。

東武鉄道とJR北海道はSL「大樹」復活運転を契機に、連携してPRを実施しており、引き続き両社沿線の魅力発信を図ってまいります。

「SL『大樹』PRキャラバン」の概要は下記のとおりです。

記

- 1 イベント名称 SL「大樹」PRキャラバン
- 2 実施場所 JR札幌駅西コンコース SL「大樹」PRブース前
- 3 実施日時 2017年10月27日（金）16時30分～（予定）
- 4 実施内容 東武鉄道・JR北海道が共同でお客さまにパンフレットやノベルティ等を配付し、SL「大樹」や日光・鬼怒川エリアの魅力、同エリアへの旅行商品等を紹介します。



△ SL「大樹」PRブース（JR札幌駅西コンコース）



△ SL「大樹」（東武鬼怒川線）

<東武鉄道SL復活運転プロジェクト>

昭和41年に東武鉄道のすべてのSL運行が終了して以来、約50年ぶりの蒸気機関車の復活を目指したプロジェクト。

この度、昭和16年に製造され、北海道で活躍したSL「C11形207号機」が海を渡り、東武鬼怒川線 下今市～鬼怒川温泉間（栃木県日光市）で8月10日より営業運転を開始し、土休日を中心に運転。

詳細は「東武鉄道SL復活運転プロジェクトサイト（<http://www.tobu.co.jp/sl/>）」をご覧ください。